

# 119.アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究 ～ 第一段階調査～

## 研究の概要

- ・現在、国はアレルギー疾患対策を総針切ご推進しており、2015年にはアレルギー疾患対策基本法も制定されました。
- ・その基本指針では、疫学研究(特定の集団を対象に、健康に関わる要因を明らかにすること)により、アレルギー疾患についての良質なデータを集め、よりよい治療・管理のために、定期的にガイドラインを改訂することが必要だと示しています。
- ・アレルギー疾患は1人の患者が「ぜん息とアトピー性皮膚炎」など複数の疾患を合併します。
- ・しかし、これまでの日本での研究の多くは、ぜん息やアトピー性皮膚炎といった疾患ごと、小児や成人といった年齢ごとの調査であり、「アレルギー疾患全体」の有病率や、年齢によるアレルギー疾患の有病率は、まだ示されていません。

## 研究の目的

- ・この研究では、国に指定されている各都道府県アレルギー疾患医療拠点病院(当院は熊本県拠点病院である熊本大学病院の連携病院です)と連携して、その職員・家族を対象に、全ての年齢層におけるアレルギー疾患(気管支喘息、アレルギー性鼻炎結膜炎(花粉症)、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー)の有病率と、個々の合併率を明らかにし、日本におけるアレルギー疾患の現状を把握し、生活実態等との関連性について検討します。
- ・また、今後も同じ方法で、数年ごとに調査を継続し、アレルギー疾患の有病率の変化を評価できるような、疫学調査のデータベースを作成することが考えられています。
- ・本研究はパイロット研究として行われ、この調査の回答率やアンケート結果が、来年度以降に施行される、全国のアレルギー疾患医療拠点病院を対象に行う本調査に役立てられます。

## 研究の方法

- ① 対象:国立病院機構熊本医療センターの職員と、その同居家族の中で、参加いただける方
- ② 方法:webを用いたアンケート(5-10分で済みます)

お渡しするパンフレット等にありますがQRコードやURLから回答画面にアクセスいただき、ご自身のパソコンやスマートフォンを用いて回答していただく予定です。

## 本研究の参加について

参加は自由意志です。答えなくても問題ありません。Webのアンケート回答画面で、参加意思を確認させていただき、改めてご本人様への直接のインフォームドコンセントは行いません。

- ・取得した情報は楽天インサイト株式会社のサーバーに保管されます。
- ・研究終了後は富山大学小児科に提供された後に速やかに消去されます。
- ・得られた情報から、個人がわかる記述は用いられません。入力された情報は個人情報に結びつかないため、依頼があっても削除ができません。
- ・情報は富山大学小児科医局(施錠、パスワードロック等)によりアクセス権限が制限された医局内保管室で管理されます。

## 調査する内容

病院職員、および両居する家族について。

① アレノレギー疾患の既往・有病状況

気管支喘息、アトピー性支膚炎、食物アレルギー、口腔アレルギー症候群、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症

② 年齢、性別

③ IDとパスワード

各自設定くださいますでしょうか？

次年度以降も再調査させていただきたく、操作を簡略化できればと考えております。

④ 医師、看護士、事務職、その他

## 調査期間

研究対象期間:倫理委員会承認後～2021年2月14 日まで

研究実施期間:倫理委員会承認後～2025年3月31日まで

## 研究成果の発表

厚生労働省に報告の上、厚生労働省と日本アレルギー学会が管理しているアレノレギーポータル (<https://allergyportal.jp>)にて公開します。また、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会等にて発表し、論文化される予定です。

## 研究代表者

富山大学医学部小児科 教授 足立雄一

### 当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 小児科 緒方美佳

### 問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 小児科 緒方美佳

TEL : 096-353-6501